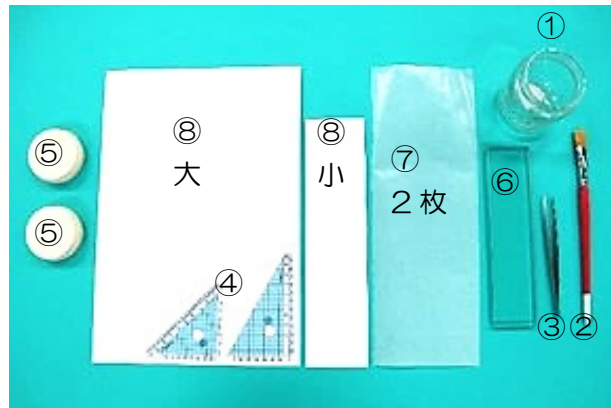


外れた^{だいせん}題箋の貼り方

外れた題箋を、資料に安全な材料や、身近な道具を使用して貼り直します。将来の修復の際にはがせるように、少量の糊で貼りつけます。処置の記録を残しておくといよいでしょう。

使用材料・道具



①	小麦粉澱粉糊（正（生）麩糊）（注） ジャムの空き瓶などに入れ、ケチャップくらいの濃度で水で溶く。
②	平筆
③	ピンセット
④	三角定規 2枚
⑤	重石（小さめ）または文鎮 2個
⑥	卦算（けさん）またはプラスチック製定規または平らな板 1本 重石の圧力が題箋に均等にかかるよう、題箋より大きいもの。
⑦	クッキングシート 2枚 （表面がつるつるして貼りつかず、水蒸気を通すシリコンペーパー） 題箋の上のせて使用する。
⑧	吸水紙（ろ紙やキッチンペーパーなど） 大小2枚 糊の水分を吸収させる。
⑨	捨て紙（コピー用紙など） 大小2枚

（注）小麦粉澱粉糊について

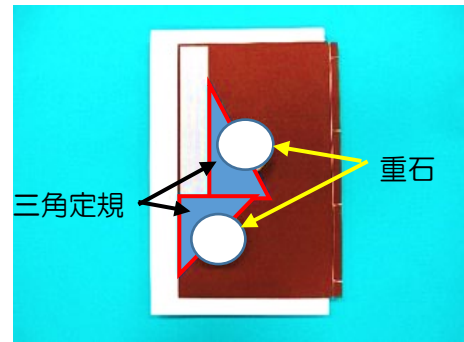
1. 一般に市販されている澱粉糊は、防腐剤などの添加物が含まれている。長期保存する資料には、防腐剤などを含まない糊を使用するとよい。
2. 小麦粉澱粉糊の粉は、大型画材店などや文化財の修復材料の Web サイトなどで販売されている。
3. 小麦粉澱粉糊は粉を4～5倍の水で溶いたものを鍋に入れ、焦がさないようによくかき回しながら強火～中火で20分程度煮て、容器に入れて冷ます。電子レンジを使用した少量の小麦粉澱粉糊の作り方は、「防ぐ技術・治す技術―紙資料保存マニュアル―」日本図書館協会 2005年 p95 参照。

題箋が少し剥がれかけていても、取扱いに支障がなければ貼り直す必要はありません。取扱いに支障がある場合は、貼り直しを検討しましょう。また、ここでご紹介している方法は、一般的な和古書を対象としたものです。特に貴重な資料や、劣化が著しい資料に対応する方法ではありません。特に貴重な資料や劣化が著しい資料は、処置をせず専門業者にご相談することをお勧めします。

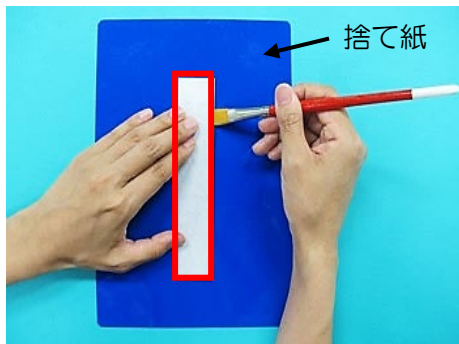
貼り方



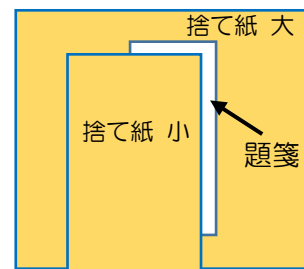
① まず、表紙と本文紙の間に吸水紙を挟んで、糊の水分が本文紙に移らないようにする。次に糊跡や類似の資料などから、外れた題箋を貼る位置を確認し、題箋を所定の位置に仮置きする。



② 三角定規で貼る位置のガイドを作り、重石で固定する。



③ 題箋を捨て紙の上に裏側を上にして置き、周囲3mm程度糊をつける。手早く、薄く均一に塗る。糊染みの原因になるので糊をつけすぎないように注意する。



※糊の塗り方のヒント
2枚の捨て紙を使い、糊を塗る箇所以外を捨て紙で覆うと、2辺は手早く塗ることができる。



④ピンセットで題箋を持ち上げ、もう片方の手で端を持ち、②のガイドに沿って③の題箋を置く。



⑤題箋の上にクッキングシートを置き、手でよく撫でて接着させる。



⑥題箋の上に、もう一枚のクッキングシート、吸水紙、卦算、重石の順にのせて一晩置き、糊を乾燥させる。重石を置くと、題箋がしっかり表紙に貼りつく。また、糊が乾燥した後の表紙の引きつれを防ぐことができる。

※取り扱いに支障があるほど剥がれかけている場合は、題箋をめくって筆で題箋の裏側の周囲に糊を塗り、⑤～⑥の要領で乾燥させる。